



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 177

令和3年(2021)
11月9日

- 令和2年度一般会計決算を認定
- 令和3年度一般会計補正予算を可決
- 令和3年度病院事業会計補正予算を可決
- 「日本の造船業の国際競争力強化及び日本海側における海事産業のリダンダンシー対策に係る意見書」および「新型コロナウイルス感染症対策に係る意見書」を可決

主 な 内 容	9月定例会のあらまし	2
	代表質問	2
	一般質問	5
	常任委員会の審査報告	10
	各会派討論の内容	11
	議案の採決結果	14
	広報に関するアンケート調査結果報告	16
	意見書	18
	特別委員会活動報告	19
	市議会防災訓練(9/1開催)	19
	12月定例会予定	19
	委員会・分科会の映像配信の開始について ～「議会の見える化」さらに推進します～	20
	編集後記	20

議会だよりはこのコードから
ご覧いただけます。



実りの秋 はじける秋

9月定例会のあらまし

- **ビヨンド・コロナ社会の実現に向けた事業を含む「令和2年度一般会計決算」を認定**
- **緊急時避難円滑化事業費、情報発信力強化事業費など災害時の安全対策に配慮した「令和3年度一般会計補正予算(第6号)」を可決するとともに、追加議案として提案された新型コロナウイルスワクチン接種を推進する「令和3年度病院事業会計補正予算(第1号)」を可決**
- **情報通信技術を活用した行政の推進について、利用のための能力または利用の機会における格差の是正、手続等を行うために必要となる事項等を定める「舞鶴市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例制定について」を可決**

令和3年9月定例会は令和3年9月2日から10月6日まで35日間開催し、市長から提案された令和2年度の一般会計等の決算、令和3年度の一般会計等の補正予算、条例制定など22議案を審議し、いずれも原案のとおり認定・可決・同意されました。また、議会提案の「日本の造船業の国際競争力強化及び日本海側における海事産業のリダンダンシー対策に係る意見書」および「新型コロナウイルス感染症対策に係る意見書」の2件を可決しました。

令和3年 舞鶴市議会9月定例会代表質問

令和3年9月14日

順番	会派名及び氏名	質問事項	
1	日本共産党議員団 小西 洋一	1 新型コロナウイルス感染症対策と地域医療の整備について	
		2 (略称)「土地利用規制法」について	
		3 常備消防の充実について	
2	新政クラブ議員団 眞下 隆史	1 令和2年度コロナ禍における市政運営の評価について	2 新型コロナウイルスワクチン接種の対応について
		3 令和3年度国・府要望について	4 委託事業から市直営事業への変更の効果と長期計画について
		5 東京2020オリンピックレガシーについて	6 地域防災力の充実・強化について
		7 今後の下水道事業について	
3	公明党議員団 上羽 和幸	1 防災・減災、安全のまちづくりについて	
		2 ビヨンド・コロナと地方創生について	
4	創政クラブ議員団 谷川 眞司	1 令和2年度財政について	2 新型コロナウイルス感染症について
		3 JMUについて	4 赤れんが周辺等まちづくり事業について
		5 旧市民病院跡地整備について	6 2020東京五輪ホストタウン交流について
5	市民クラブ舞鶴議員団 鴨田 秋津	1 本市における地域医療の現状と課題について	
		2 市役所運営について	
		3 市長の政治姿勢について	

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※代表質問については、質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める方式のみとなっています。



令和3年9月14日に本会議を開き、各会派が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問



誰にも適切な医療が必要

質問 医療ひっ迫を背景に菅首相は「入院は重傷者。中軽症者は自宅療養」とし、入院要件を狭めた。与党内からも異論が出たが、撤回されず。新型コロナウイルス感染者が医療にかけられ、他の病気で全員の適切な治療を受けられる体制をつくることは政治の責任。「原則自宅療養」の方針撤回を国に強く求めるべき市長の見解を問う。

答弁 自宅療養の方針は、首都圏など爆発的な感染拡大地域への

Q 原則「自宅療養」撤回を国に要望すべき

A 国への要望は必要がない



日本共産党議員団
小西洋一

対策としての措置。京都府では、入院医療コントロールセンターで調整がされており、国への要望は必要ない。

Q 市の常備消防は単独運用を

A 持続可能な消防体制を構築

質問 消防の広域化は、自治体の自主的な判断と国も認めている。府の計画に拘束される必要はない。他市の事例からも単独運用の方が経費は安い。広域化についての見解を問う。

答弁 消防指令センターの共同運用は費用の低廉化、近隣市町との連携強化など大きな効果がある。府の計画は柔軟に連携・協力し、持続可能な消防体制を構築するものである。



食事で咲かないアジサイ(舞鶴自然文化園)

質問 舞鶴自然文化園は、季節の風景・大自然を伝える市内有数の観光スポットである。近年では、シカによる食害・枯れ木・景観の不具合など課題もあることから、今後市民に親しまれる自然文化園となるよう、短中期にわたる基本計画の策定が必要と考えるが、市の見解を問う。

答弁 まずは、自然文化園の堅実な維持管理を行い、直営による次なるステップに向け、今年度末をめどに新たな

Q さらに親しまれる自然文化園を目指して再生計画として

A 中長期事業展開を検討



新政クラブ議員団
眞下隆史

な再生計画の策定に取り組んでいる。中長期的な事業展開についても検討する。

Q 若者世代の意見に政策に

A ビヨンドコロナ施策に反映

質問 コロナ禍で、貴重な人生経験の期間を抑制されている20歳代の今後が心配である。意見聴取がしにくい世代であるが、ぜひ20歳代の意見を聴取し貴重な意見として、ビヨンドコロナ施策に取り組みたいか。

答弁 市の若手職員が将来どうありたいか、どう考えているか積極的に意見交換し、若い世代の力を原動力としてビヨンドコロナ施策の検討を進める。

質問 集中豪雨やゲリラ豪雨の増加で災害は激化すると予測される。

①防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策と5か年加速化対策により進められる市内の治水整備では、災害がどの程度抑制されるか。

②土砂災害警戒区域・特別警戒区域は、舞鶴市内に2209カ所が指定されているが、整備の優先順位が遅い地域の安全対策をどのように考えているか。

③災害時に重要な要援護者の個別支援計画の実効性を高めるための課題を聞く。

答弁 ①由良川は昭和28年13号台風に対応できる流

Q 激化する豪雨災害へ防災・減災対策を

A 事業の実施と安全対策に努める



公明党議員団
上羽和幸



舞鶴市土砂災害ハザードマップ

下能力が確保され、西市街地は平成16年23号台風の出水に対し、床上浸水の被害が解消される。

②京都府が順次事業を実施する予定だが、整備の実施は膨大な費用と期間が必要。避難支援などソフト事業と併せ安全安心のまちづくりを進める。

③平常時からの取り組みが不可欠で、地域の皆さんと連携し、地域全体で共助による支援体制に努めていただきたいと考えている。



令和3年9月14日に本会議を開き、各会派が代表質問を行いました。質問・答弁の要旨は次のとおりです。 **代表質問 FMまいづるに出演紹介**

代表質問
Q 赤れんがパークの今後の展望を問う
A 周辺エリア一帯の活用に向け取り組み



創政クラブ議員団
谷川 眞司

質問 赤れんが周辺等まちづくり事業は、都市公園法に基づく新たな手法でR・S・Rも取り入れ、官民連携によって、このエリアを一大交流拠点にするための取り組みで、防衛省用地・北吸三角地を取得してメインゲートとして整備する大きなプロジェクトである。すでに公募を開始し、来年度からの運用を目指すところだが、今後の展望を問う。

答弁 今年度、文部科学省所管の赤れんが倉庫3棟の展示基本構想策定事業に取り組み、海上自衛隊、海上保安庁等とも連携を図り、施設整備の早期実現を目指す。防衛省用地・

北吸三角地は、赤れんがパークを象徴するエントランス広場として整備するとともに、交通ターミナル機能の強化を図るなど、赤れんがパークのゲートウェイとしての機能強化を図る。今後とも市民や市内事業者を含む多様な主体が参画、活躍し、大きなにぎわいを創出する赤れんが周辺エリア一帯の活用に向けた取り組みを推し進める。



来場者数150万人を目指す赤れんがパーク

代表質問
Q 公約どおり医師の確保はなされているか
A 医師数縮小も一定数確保と認識



市民クラブ舞鶴議員団
鴨田 秋津



市民アンケートでも医療への期待が高い

質問 市長は、どの病院のためにも医師の獲得に奔走すると宣言され、平成23年に当選された。ところが平成30年までの7年間で15名減っている。本市公的4病院の常勤医師数の合計は何名か。また公的病院の医師は足りているとお考えか。

質問 日本医師数は年々増加している。私たちが中丹医療圏全体でも増えている。市長が言う近隣の医療が充実し、需要が減った。人口が減るから患者も減る。結果として医師の数が減るとの理屈は、舞鶴だけ該当するのか。

答弁 令和3年4月1日現在で95名。平成に入り近隣地域の病院が充実し、流入患者が減少した。本市の人口減少も伴い、医師数も縮小した。一概には言えないが近隣と比べて

質問 日本医師数は増えている
A 医師の割り振りは不可能

質問 日本医師数は年々増加している。私たちが中丹医療圏全体でも増えている。市長が言う近隣の医療が充実し、需要が減った。人口が減るから患者も減る。結果として医師の数が減るとの理屈は、舞鶴だけ該当するのか。

答弁 専門医制度の進展で医師は足りない。医師の働き方改革も進み、たくさん働けない時代、やりくりするためには何かを我慢しなければならぬ。医師の割り振りは総理大臣でもできないと思う。

舞鶴市が実施している病院で、あなたが期待しているものは何ですか？

- 1 公的4病院の連携による医療体制維持 (39.9%)
- 2 西舞鶴道路や白鳥道路などの4車線化 (28.3%)
- 3 移住・定住の促進 (24.3%)

午後3時から生放送！
午後9時から、再放送をお聴きいただけます。

これまでの主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」
- 「本会議や委員会の傍聴について」
- 「議場の中の様子などについて」
- 「FMまいづるとの意見交換会の報告」
- 「審議の見える化を図る取組」 など

FMまいづるに出演しています

《今後の放送予定》

11月19日(金)
放送テーマ：「常任委員会 今年の活動のまとめ」

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。

定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなこととお話していますので、ぜひお聴きください。

次回の放送予定やこれまでの放送内容については、ホームページからご覧いただけます。



令和3年9月15日、16日に本会議を開き、12人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

令和3年 舞鶴市議会9月定例会一般質問

令和3年9月15日、16日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一括	伊藤 清美	1 舞鶴市内の河川について	2 再犯防止計画について
			3 東京2020オリンピックにおけるホストタウンとしての総括について	
2	一括	杉島 久敏	1 民法改正による「成人年齢18歳」の引下げについて	
			2 新型コロナウイルス感染症について	
3	一問一答	田畑 篤子	1 新型コロナウイルス感染症について	2 花とみどりの環境整備について
			3 子育て支援について	
4	一括	西村 正之	1 武道について	
5	一問一答	小杉 悦子	1 災害時における情報伝達手段の充実について	2 学校教育の充実について
			3 高齢者福祉について	
6	一括	仲井 玲子	1 ウイズコロナ時代における高齢者の孤立化対策について	2 高齢者の社会的活躍の場の創出支援について
			3 誰もが安心安全に暮らせる地域社会の形成について	
7	一問一答	川口 孝文	1 新型コロナウイルスワクチン一般接種状況等について	2 タブレット端末の自宅学習等での活用等について
			3 赤れんが倉庫6、7、8号棟の整備等について	4 舞鶴総合防災訓練について
8	一括	松田 弘幸	1 舞鶴市地域エネルギービジョンについて	
			2 地図アプリについて	
9	一問一答	鯛 慶一	1 FMまいづるの現状について	
			2 ごみ処理の現状について	
10	一問一答	伊田 悦子	1 平和の担い手を育てる取組について	2 ジェンダー平等の視点に立った本市の取組について
			3 文化的な生活環境について	
11	一括	高橋 秀策	1 教育について	2 ごみ問題について
			3 ウォーキングと健康について	
12	一括	小谷 繁雄	1 災害時の電源確保について	
			2 小・中学生の防災教育について	

※一括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

舞鶴市議会 検索



※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。
※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

令和3年9月15日、16日に本会議を開き、12人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

Q 流域治水の考えから市内の治水対策は下流から上流域へと危険度を考慮し整備



質問 近年の気候変動により自然災害が激甚化・頻発化している。国や流域自治体、企業、住民等が協働して取り組む流域治水という考え方から、本市の治水対策をどのように進めようとしているのか。

答弁 近年の気候変動により自然災害が激甚化・頻発化している。国や流域自治体、企業、住民等が協働して取り組む流域治水という考え方から、本市の治水対策をどのように進めようとしているのか。車等の不法投棄もあり、障害物があれば、大雨の時にふさがり形となり、新たな災害発生要因にもなり得る。暗きよ部の点検や障害物が滞留しない対策が必要と考えるがいかがか。

質問 本市の治水対策のうち小規模河川では、床上・床下浸水が多発する下流域から整備するとともに、上流域においても調査を行い危険度の高い箇所から整備を計画していく。

答弁 暗きよ部は、土砂等の流入により閉塞しやすく、洪水の原因になると認識している。定期的な現場点検と除去作業を行うとともに、必要に応じて、流入防止柵等の設置の検討を行い、適正な河川の維持管理に努める。

Q 市街地暗きよ部の危険性は

A 土砂等障害物の危険を認識

質問 まちなかの開発を進める中で、川の上部をふさがり暗きよが使用されてきた。自転



市内小規模河川の増水状況（森地域）

Q 民法改正に伴う若者の消費者教育を高等教育委員会や高等学校などにおいて推進



質問 民法改正により、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられる。重要な変更点は18歳以上になつたら、一人でも有効で確定的な契約を結べるようになることである。そのため、知識や経験の乏しさにより、トラブルに巻き込まれる可能性が上昇すると予想されることから、詐欺商法やクーリングオフ制度に関する知識とそれを実践するスキルが必要となる。本市では今後、若者に対する消費者教育についてどのように取り組んでいけるのか。

答弁 今回民法改正は、社会全体の法改正は、社会の大きな

質問 民法改正により、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられる。重要な変更点は18歳以上になつたら、一人でも有効で確定的な契約を結べるようになることである。そのため、知識や経験の乏しさにより、トラブルに巻き込まれる可能性が上昇すると予想されることから、詐欺商法やクーリングオフ制度に関する知識とそれを実践するスキルが必要となる。本市では今後、若者に対する消費者教育についてどのように取り組んでいけるのか。

答弁 今回民法改正は、社会全体の法改正は、社会の大きな

民法改正 成年年齢の引下げ
～若者がいざいざと活躍する社会へ～

2022年4月1日から、
成年年齢は
18歳になります。

18 years old

民法改正、成年年齢引き下げの通知

Q 東舞鶴駅前整備の市民協働への公助は費用負担基準を決め財源の確保に取り組み



質問 JR東舞鶴駅北・南口は市の管轄。駅前整備では、市民有志の協力による整備が計画中である。それは、一定の経費が必要となる。全て市民に負担いただくことにはならない。市の公助をどのようにお考えか。

質問 舞鶴YMCA国際福祉専門学校の奨学金制度は、卒業後の就業施設の幅を広げることで入学志願者も増え、障害児・者施設も有資格者の確保につながる。時代の変化に合わせた効果的な奨学金制度の見直しの考えは。

Q 奨学金制度の見直しを

A 効果的な制度に向けて判断

答弁 市民の皆さんと協働で、まちの魅力向上を目指す取り組みを持続するには、ボランティアで実施いただく範囲を決めた上で、資機材や材料など経費負担の基準を明確にし

答弁 市民福祉ささえあい基金を活用した制度であり、障害児・者福祉サービスを担う人材確保の状況を把握する中で、より効果的な制度となるよう総合的に判断したいと考えている。



草刈り後の東舞鶴駅前

令和3年9月15日、16日に本会議を開き、12人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



自他共栄の精神を育む柔道

質問 講道館柔道の創始者、嘉納治五郎先生は、柔道の精神を、精力善用、自他共栄と説かれている。「心身の持つ全ての力を最大限に生かして社会のために良い方向に用いる」という精神と、「相手を敬い感謝する。信頼し合い助け合う心を育み、自分だけでなく他人と共に栄える世の中にしよう」という二つの規範は、教育にお

いても大変意義のあるものである。しかし、柔道は、常に外傷や障害発生の危険性と隣り合わせにあるといっても過言ではない。成長期にある生徒の安全対策を問う。

答弁 本市においては、全中学校で柔道が選択されている。柔道の授業においては、基本動作である受け身を最初に指導し、徹底することが必要だと考える。指導を行う教員は、国や府が実施する研修会や、毎年行う中学校体育実技研修会に参加して指導力の向上に努めている。施設面では、安全な授業が実施できるよう環境づくりにも努めている。

Q 武道必修化と安全対策は安全な授業と環境づくりに努める



市民クラブ舞鶴議員団
西村正之

Q 中継局増設問題は市民に十分な説明を関係者が協力し最善の方法を検討



日本共産党議員団
小杉悦子

質問 FMまいづるの中継局増設で災害時の情報伝達手段が増える。試験放送で加佐中継局が、計画どおりいかなかったことを「無線自体が予想しがたい研究分野」とされた。FMまいづるは、設計業務委託事業者や市に、専門的立場から意見をを出していると聞く。今回の計画では困難との指摘があったのでは。議会と市民に説明が不十分。いかがか。

答弁 コミュニティFMが使用するVHF帯無線回線でFMまいづるから、今回の事業が国の「全額」補助であるため、無線での送受信に強い要望があり、関係者が協力して最善の方法を検討してきた。



FM加佐中継局

質問 6月定例会総務消防委員会で「まだ完了していない過程の内容が新聞報道されている」との指摘に、「契約に抵触しているか調査を行う」とされた。調査結果を明らかにされたい。

Q 契約に抵触の調査の結果は
A 事業完了をめどに対応

答弁 信頼関係の下で、FMまいづるに施工管理業務を委託。事業の継続中であり完了を目途に対応する。

Q 高齢者の社会活躍の場創出支援は働く意欲ある高齢者へ総合的な就業支援



会派に所属しない議員
仲井玲子

質問 精神障害のある方の人権を守り、地域で暮らししていくためのさまざまな支援体系は、地域住民の協力的な

質問 少子高齢化による生産年齢人口比率の低下が懸念される中、元気な高齢者の方の労働力としての社会参加も期待される。IT教育による人材発掘や起業などの社会参加支援施策を問う。

答弁 まいづるシニア就職面接会などの取り組みを積極的に行い、元気で就業意欲の高い高齢者が生き生きと働くことができる環境づくりを進める。

質問 要支援者への協力体制は
A 地域共生社会実現を目指す



高齢者の活躍に期待

答弁 個別の案件については本人、ご家族、障害担当、関係する部署や保健所、相談支援事務所、民生児童委員等との連携により対応している。今後とも相談支援体制の連携強化を図り、地域共生社会の実現に向けた支援体制の充実に努める。

令和3年9月15日、16日に本会議を開き、12人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



一人一台のタブレット端末

Q 小中学校でのタブレット端末の活用はさまざま教育活動に活用操作にも習熟



創政クラブ議員団
川口 孝文

質問 小中学校では4月より、いろいろな学習の場面でタブレット端末を活用されてきたと思う。現在、校内でタブレット端末をどのように活用しているのか。また、教職員や児童・生徒の機器への習熟具合は進んでいるのかを問う。

Q 自宅学習への対応状況は10月中の持ち帰りを準備

質問 児童・生徒、各家庭への対応状況はどうか。貸与用モバイルルーター、通信環境の整備など、タブレット端末の自宅学習環境整備状況を問う。

答弁 教員が大型モニターに課題を提示し、各自に送信。意見を書き込み提出させ、これを再度モニターに映し全員で意見交流を行う

答弁 保護者に同意書の提出をお願いし、その上で全家庭に通信環境が整うよう、就学援助費受給世帯への通信費の支援、約120世帯へのモバイルルーターの貸与を予定。10月に持ち帰りができるよう作業を進めている。

Q 地図アプリの改良と活用法の検討を問う



公明党議員団
松田 弘幸

質問 地図アプリのアンブラマップを開くと、海軍舞鶴鎮守府エリアや田辺城・城下町エリア、舞鶴鎮守府開庁120年軍艦通りスタンプラリーの他に、近隣市町を含めた多くのマップが表示される。しかし、表示画像の文字が小さいなど必要なマップが探しづらい。利用者が簡単に選択できるように改良が必要と考える。また、コロナ禍にあっても、この地図アプリは観光誘客に有力なツールと考える。市は、どのような活用方法を検討しているのか。

Q 充実を図り、マイクروطーリズムを推進

答弁 アプリ運営業者と協議し、本市のマップやスタンプラリーのアイコンを1カ所にまとめ選択しやすくする。さらに、切り替えの高速化、利用者が地点情報を登録し、共有できる投稿機能も充実する予定。観光誘客への活用は、鎮守府と田辺城エリアを中心に、地域固有の歴史や文化を紹介する地域間交流などを進め、地図アプリに掲載することで、マイクروطーリズムの推進や舞鶴ファンの獲得を進める。



アンブラマップのQRコード

Q 自動起動ラジオは誰でも購入できるのか



新政クラブ議員団
網 慶一

質問 難聴地域を解消するため、加佐中継局、空山中継局を整備していただいている。空山の整備が完了すれば、大浦地区での自動起動ラジオの運用は可能か。また、PAZ圏内などの地域の方には、自動起動ラジオを各世帯に無償貸与すると説明があつたが、自動起動ラジオの配布予定はどうなっているのか。さらに市民の皆さんが自動起動ラジオを購入したい場合の販売場所、購入可能時期、販売予定価格などを問う。

Q 11月から購入が可能

答弁 自動起動ラジオの運用は10月に開始できると進めていく。また、PAZ圏内などの地域の方には、自動起動ラジオを各世帯に無償貸与すると説明があつたが、自動起動ラジオの配布予定はどうなっているのか。さらに市民の皆さんが自動起動ラジオを購入したい場合の販売場所、購入可能時期、販売予定価格などを問う。

答弁 自動起動ラジオの運用は10月に開始できると進めていく。また、PAZ圏内などの地域の方には、自動起動ラジオを各世帯に無償貸与すると説明があつたが、自動起動ラジオの配布予定はどうなっているのか。さらに市民の皆さんが自動起動ラジオを購入したい場合の販売場所、購入可能時期、販売予定価格などを問う。



安全安心のツールに自動起動ラジオを

令和3年9月15日、16日に本会議を開き、12人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



彩りの消えた寂しい駅前

答弁 今年度、花壇の整備はない。道路や公園等の除草は、安全面を優先して実施。雑草が放置されたという認識はなく、公社解散の影響はないと考える。

質問 「生理の貧困」の背景にある困難や不安に対する相談を行うことで、見えてくるさまざまな課題を関係機関と連携し支援していく。まずは、女性のための相談窓口において、

質問 内閣府男女共同参画局の調査では、「生理の貧困」対策に取り組んでいる自治体は581と数カ月で約2倍となっている。国の交付金を活用し、本市も生理用品を無償配布し、「生理の貧困」対策に取り組むべき。いかがか。

質問 「駅前から花の植え込みがなくなり、まち全体が雑草など放置されたまま」との市民からの声。経費削減を理由に花と緑の公社を解散した影響では、「文化のまちづくり」の前提は市民生活の中に潤いがあるかどうかである。いかがか。

Q 雑草放置では文化語れない
A 雑草放置の認識はない

一人一人相談者に寄り添った支援を行う。

Q 生理用品無償配布で生理の貧困対策を
A まずは女性のための相談窓口で支援



日本共産党議員団
伊田悦子

質問 小中一貫教育は、全中学校区で、児童生徒の学力の充実・向上と学校生活への適

Q 小中一貫教育の現状と課題
A しっかりと推し進めていく

答弁 ウォーキングロードの看板設置や距離表示の効果は、市民や関係者の意見を聴き検討する。

質問 ウォーキングは脂肪燃焼効果が高いため、健康増進や生活習慣病予防につながる。本市健康増進計画の中にも「ウォーキングを楽しむことができる歩道の環境整備に努めます」とあるが、距離表示やウォーキング&ラニングマップ看板設置の考えを問う。

答弁 「学力の定着」「豊かな人間性や社会性の育成」「9年間を見通した一貫性のある指導」の3つの目標を掲げ、質の高い教育の充実を柱として進めてきた。小中一貫教育をしっかりと推し進め、子どもたちが安心して学校に通い、夢に向かって将来を切り拓いていくよう引き続き取り組む。

Q ウォーキングロードの看板や距離表示を
A 市民や関係者の意見を聴き検討する



創政クラブ議員団
高橋秀策



西運動公園距離表示

Q 災害時、避難所の非常用電源の確保は
A 非常用電源の設置を順次進める計画



公明党議員団
小谷繁雄

質問 災害時には、停電となる可能性も高く、避難所においては、電力供給が復旧するまで、一定期間継続的に、安定的に供給する非常用電源の確保が必要と考えるがどうか。また、災害時の非常用電源となる発電機は、保守運用の負担や使用時の環境への負荷が課題である。太陽光発電と蓄電池を組み合わせた再生可能エネルギーを導入し、自主避難所や東体育館など拠点避難所の非常用電源の確保を進めてはどうか。

答弁 避難所の非常用電源設置は、順次進める計画である。整備できるまでの間は、ポータブル発電機の拡充など、さまざまな方法により災害時の電源確保に努める。現在、本市では、避難所を中心に再生可能エネルギーを活用した設備を導入している。引き続き避難所の規模や構造を考慮し、エネルギー促進事業補助金など、有利な財源の確保と活用を努める。

中、太陽光パネルや蓄電池等の導入を図る。



本庁・別館塔屋にある非常用発電機



本会議において付託された議案は、市民文教委員会2件、産業建設委員会2件、総務消防委員会4件、予算決算委員会13件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

予算決算委員会の主な審査内容

令和3年度一般会計 補正予算(第6号)

緊急時避難円滑化事業費

Q 幅員4メートルで避難路として十分か

A 自家用車の離合やマイクロボスの通行が可能である4メートルを確保することで、避難路として機能する。

Q 早期の整備が必要と考えるが、予算の都合で3カ年計画なのか

A 調査・設計、工事にそれぞれ期間を要するため、3カ年の計画で整備する。

地域密着型サービスマ 拠点施設整備費補助金

Q 新たな工事を追加することになるが、資材の確保等は間に合うか。また、本体工事の現在の進捗状況もお聞かせいただきたい

A 現在整備中の介護老人福祉施設における追加工事の内容は、新型コロナウイルス感染症対策として、感染発生時対応および感染拡大防止の観点から、ゾ

ーニング環境等の整備を行うものである。本体工事については、令和4年3月末を目途に予定どおり進行中であり、工期等に影響はないと伺っている。また、8月末時点での出来高は8・5%である。

施設改修事業費

Q 清掃事務所等で、定額制でごみの搬入受け付け手数料の徴収を開始したことにより、搬入台数はどれくらい減少したのか。また、従量制移行の必要性をどう考えているか

A 搬入台数は清掃事務所で67%、リサイクルプラザで71%、それぞれ減少した。公平性の観点から、搬入量に応じて手数料を徴収するのが望ましいと考えている。

魅力ある商店街づくり 推進事業費補助金

Q 昨年、市内商店街のアーケードの屋根材の一部が老朽化により落下したことを受け、状況調査した結果は

A 改修が必要となったのは5商店街あった。令和2年度中に補助金

の活用や軽微な場合は自前で修繕されており、残りの2商店街の安全対策に今回支援するのである。

令和3年度病院事業会計 補正予算(第1号)

京都市府ワクチン接種会場運営経費

Q 申込対象者と申込方法は

A この事業は、16歳以上の京都市民を対象としており、京都市府の予約システムを通じて申し込んでいただけるよう府のホームページ等で案内している。また、舞鶴市民については、市に設置のワクチンコールセンターへ直接申込みをいただくことも可能としている。

Q 開設場所と駐車場は

A 会場は中総合会館3階の3部屋で予定しており、駐車場については、中総合会館の駐車場のほかに、近隣駐車場を確保し、誘導人員も確保できている。

Q 使用するワクチンの種類と2回目接種までの間隔は

A モデルナ社製ワク

チンを使用するため、1回目の接種日から4週間後に2回目の接種を行うこととしている。

Q 接種数の見込みは

A 1回目の接種を2100人と見込んでいるため、1人2回の接種で計4200人の接種を見込んでいる。

令和2年度 一般会計決算 一度視覚障害(児)者 同行援護給付費

Q 令和元年度比較で、減額となった要因は

A この事業は、ガイドヘルパーの派遣により外出支援をする事業であるが、コロナ禍の影響により利用者が外出を控えられたことが主な要因と考えられる。

生活保護世帯・ 人員の推移

Q コロナ禍の影響により、全国的に生活保護申請の増加が懸念されたが、本市において生活保護受給件数が大幅に増加しなかった理由は

A 生活困窮者に対し、貸付制度の緊急小口資金や住居確保給付金な

ど、国等による支援制度が確立されたことにより、本市の生活保護件数が増加しなかったと考えられる。

新型コロナウイルス感染症 対策「まいづる地域商品券」 発行事業費

Q 完売になっていない要因は

A 販売時期に新型コロナウイルス陽性者が増大したこと。商品券構成が飲食店中心で、大型店舗で使用できる枚数が少なかったこと等が要因と考えられる。

Q 経済効果は

A 換金率は99・36%であり、2億円以上の経済効果があったものと考えられる。

道路橋りょう施設に係る経費

Q 舞鶴クレイソブリッジ本体の保守点検委託経費がないのは

A 5年に一度法定点検している。また、職員も毎月点検を行っている。

常備消防費

Q 防火対象物等の査察実施件数が前年度よりも減っているが、計画的に

実施できているのか

A 年度当初に年間査察計画を定め計画的に査察を行っている。令和2年度は、学校を重点的に実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施件数が減少した。

施設整備事業費 (小学校費)

Q 今年度の大規模改修工事の予定は

A 福井小学校体育館の屋根改修工事、倉梯小学校ほか1校の避難器具取替工事、三笠小学校の高圧受変電設備改修工事等を完了する予定である。

ウズベキスタンホスト タウン推進等事業費

Q 市民応援団の数は何名、何団体あったか。また、事業の評価は

A 応援団は38団体、489名であった。柔道の事前合宿に多くの方々に協力いただいた中、市民との直接交流は実施できなかったが、オリンピックを通して努力する選手の姿は、夢や希望を持つきっかけになったと考えている。

本会議において付託された議案は、市民文教委員会2件、産業建設委員会2件、総務消防委員会4件、予算決算委員会13件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告 討論

令和3年10月6日の最終本会議で市長提出の議案に対して討論をしました。

令和2年度水道事業
会計の決算及び利益
の処分

給水収益の状況

Q 給水収益の増加は
A 平均で4・8%増となる料金改定を実施した結果、料金収入は前年度と比べ、680万2千円、4・5%の増収となりました。

令和2年度介護保険
事業会計決算

介護保険料の収納状況

Q 普通徴収における
収入未済の主な要因は
A 主な要因は「生活困窮」であるが、65歳になった最初の年が「年金天引き」ではなく「納付書払い」となるため、支払い忘れになるケースも多い。

常任委員会の主な審査内容

市民文教委員会の 主な審査内容

家庭的保育事業等の
運営等の基準を定める
条例の一部改正

関係法令の改正に伴い、事業者等が行う記録等を電磁的記録で行えるよう、所要の改正を行うもの。

Q 「電磁的記録」とは、
どのようなものか

A CDやDVD等に蓄積され、人の知覚では内容を認識できない方法で記録されるものである。



産業建設委員会の 主な審査内容

都市公園条例の
一部改正

指定管理者の更新に合わせ、五老ヶ岳公園展望タワーの料金改定を行うもの。

Q 算定根拠は

A 直近の施設維持管理費を入館者数で割り入館料を算定する。直近のデータから、コロナ禍で入館者数が激減した令和2年度の実績を除いた大人料金の算定は、平成29年度から令和元年度までの3年間で318円、平成30

年度から令和元年度までの2年間で308円となるため、端数処理をして300円とした。

総務消防委員会の 主な審査内容

情報通信技術を活用した
行政の推進に関する
条例の制定

市民の利便性の向上や行政の運営の簡素化・効率化を図ることとして、情報通信技術を利用した行政手続を行うための基本事項を定めた条例を制定するもの。

Q 市民の声を聞き
とったり、必要な支援
を受けたりする窓口業
務の役割が衰退し、将
来的に、対面による窓
口サービスを廃止する
ことにならないか

A 国の基本方針として、一人一人のニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せを実現できる社会と、誰一人取り残さない人に優しいデジタル化を推進していくとされていることから、アナログによる申請を望む方を見捨てるようなことにはならない。

討論

コロナ禍のもと 市独自支援策の強化を

日本共産党議員団

度一般会決算では、①地方創生拠点整備事業費②舞鶴版 Society 5.0 for SDGs 推進事業費③整備新幹線誘致推進費に係る事業が実施されており反対。

事業で、本市のワクチン接種希望者が接種できない状況をつくり出さないためにも有効。専門家は、冬に向けて第6波の可能性を警鐘している。感染拡大が下火の今、医療体制・検査態勢の充実、疲弊している地域経済への対策強化など、コロナ禍で苦しむ国民の実態に沿った施策の充実が求められる。本事業の市民への丁寧な周知や、まだ続くコロナ禍での生活において、今後も市民ぐるみで、新型コロナウイルス感染症の押さえ込みに取り組むことができるよう、市の指導性の発揮を求め賛成。

**11 議案に賛成し、
10 議案に反対する。**
提案された全ての議案を①市民生活にとつて負担が増加する税金の使い方になっていないか。②開発や公共事業優先で、福祉・教育がおろそかになっていないか。③地場産業や地元の中小企業、商店が活気づく事業になっているのか。④環境破壊や環境に負荷を与える計画になっていないか。⑤市民の権利が侵害され、負担増の条例になっていないか。以上の視点で、コロナ禍で苦しむ市民に心寄せ、慎重に審査した。その結果、令和2年

希望者に行き届く接種を

令和3年度舞鶴市病院事業会計補正予算第1号では、京都府が市民病院に委託し、京都府のワクチン接種会場を、中総合会館に開設するもの。16歳以上の京都府民が対象となる。本



「住民が主人公」みんな笑顔のまちづくりを

討 論

令和3年10月6日の最終本会議で市長提出の議案に対して討論をしました。

討論
迅速なコロナ対策と
多方面の支援を評価

新政クラブ議員団

全議案に賛成する。

令和2年度舞鶴市一般会計の決算では、歳入、歳出ともに対前年度比で3割増、100億円を超える増額決算となり、令和3年度への繰越財源3億5101万円を差し引いた実質収支額は、3億229万円の黒字となった。今回の大幅な増加額は、新型コロナウイルス感染症対策として、国からの支援を原資とした特別定額給付金をはじめとする公共施設への衛生用品の配備による感染防止対策やクーポン、地域商品券による経済支援など、多方面から支援を

行い、感染症による影響を最小限に抑える施策であったことを高く評価する。その他の事業では、京都府全域に発出された緊急事態宣言等により、事業の中止を余儀なくされ、予算の未執行もあつたが、必要な取り組みは、しっかりと当初予算の計画に沿って実施されている。感染症に打ち勝ち、乗り越えるビヨンド・コロナ社会の実現に向け、今後も引き続き市民が安心して生活ができ、「ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らし」ができるまちの実現を目標に運営されることから認定する。

令和3年度舞鶴市一般会計補正予算では、五老ヶ岳公園から送信されているFM放送電波を加佐中継局へ中継する無線局の整備、清掃事務所

とりサイクルプラザへのごみ搬入手数料の従量制に向けた施設改修事業費などが提案された。これは市民や議会から出たさまざまな意見、要望に対して、市が誠実に取り組むものであり賛成する。

令和3年度病院事業会計補正予算第1号では、京都府ワクチン接種会場が新たに北部拠点として、中総合会館に開設された。16歳以上の京都府民、特に本市を含めた5市2町の府民にとっても利便性の向上につながることを考えることから賛成する。



感染対策と並行し地域経済の支えも実施

討論
従量制への移行は
計画的に行うべき

市民クラブ舞鶴議員団

20議案に賛成し、1議案に反対する。

令和3年度一般会計補正予算第6号では、ごみ搬入時の有料化から3カ月が経過した現在、ごみの搬入量は無償であった前年度同期と比較して、清掃事務所67%減、リサイクルプラザでは71%減の成果が出ている。さらに、車の混雑等の課題も特にないことが分かった。当初の目的、ごみ処理に対する課題が一定解決に向かっているが、従量制への移行は本来に必要なのか。また、従量制に移行するための試算をせずに、施設改修を進め

る計画に市民は理解を示すのか。こうした予算は、現在の状況や今後の見通しをしっかりと検証すること。従量制に移行するにせよ、まずは、その必要性、検証結果を踏まえ、現状認識を改め、ごみの受け入れ方法、設備の検討がなされる費用でなければならぬと考える。よって、従量制ありきの計画、補正予算案を認めるわけにはいかず、この議案には賛同できない。

安心して暮らせる毎日

令和3年度病院事業会計補正予算第1号では、京都府北部の伊根町・宮津市で集団接種が終了し、舞鶴市、京丹後市、綾部市、与謝野町でも今月末の終了が予定されている。ワクチン



ごみの減量と混雑が緩和された施設

は、感染症に対する免疫をつけたり、免疫を強めるために接種されるもので、個人の発症や重症化を予防するだけでなく、社会全体で流行するのを防ぐことが期待されている。また、多くの人が接種を受けることで、重症者や死亡者を減らすこと、医療機関の負担を軽くすることができると、積極的にワクチン接種を受けていただきたいと思うところで、16歳以上の京都府民に、京都府と舞鶴市が連携してワクチン接種の機会を増やすということは、誰もが安心して暮らせる毎日を取り戻すためになる施策であると評価する。

令和3年10月6日の最終本会議で市長提出の議案に対して討論をしました。

討論

討論
ITを活用した
便利で豊かな田舎暮らし

創政クラブ議員団

全議案に賛成する。
令和2年度一般会計決算は、第7次総合計画のITを活用した便利な田舎暮らしができるまちを目指して、①心豊かに暮らせるまちづくり②安心のまちづくり③活力あるまちづくりに取り組み、ワクチン接種に当たっては、高齢者に配慮した舞鶴方式を採用。新型コロナウイルス感染症対策では、国・府の上乗せ支援策を行ったことなどを評価する。

市は衰退する」と述べられていた。市長は常々、医療は地域に約30万人の人口が必要。京都市内から1時間以内で来られることが医師の確保につながる言われている。国防や海の安全の拠点舞鶴、国にとっても大切なこの地域に、子どもたちの未来のためにも新幹線を願う。「新幹線誘致プロジェクトチーム」を立ち上げ、積極的に誘致活動を展開していくのが、今の大きな課題である。一考していただきたい。

適正化、多様な任用制度など効率的・効果的な組織運営を評価するとともに、さらなる行政改革を望む。
令和3年度病院事業会計補正予算第1号は、ワクチン接種を受けた人が受けていない人より、発症予防効果は95%と、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ない。現在も多くの市民の方が接種を希望されており、府と連携して市民病院が中総合会館でその業務を担うことは、市民に役立つ病院として評価する。



新幹線誘致で豊かな田舎暮らし

討論
日常を取り戻すため
一層の支援の目を

公明党議員団

全議案に賛成する。
令和2年度一般会計決算は、新型コロナウイルスによる経済的影響から、市民生活や経営難の事業者を守るために支援策を常に講じられた。補正予算の編成は13回に及び、コロナ対策は定額給付金をはじめ、総額96億1200万円となり、新型コロナウイルス感染症対応ナウイラス感染症対応地方創生臨時交付金による充当事業も51事業9億6300万円に及び、歳出総額は前年比で107億円の増加となった。一方で、多くの事業が中止や抑制を余儀なくされ、通常時の決算と同じように比

較できないが、次年度に影響を及ぼさない内容と認識し評価する。コロナ感染は今年度に入って増加となったが、最低限の感染者に抑制し、市内飲食店への聞き取り訪問や着実なワクチン接種に努めた。個別には困窮状況の市民に配慮が必要だが、相対的には雇用や困窮対策など模範的な対応に努めたと評価する。大事なものは、コロナ禍を乗り越えて日常生活を取り戻すことであり、多くの市民が生活を回復するには、まだまだ困難が想定されるため、今後も一層の支援の目を向けることを願う。

令和3年度一般会計補正予算の「緊急時避難円滑化事業」は、PAZを有する本市が立地自治体と同じ安全対策を求めた内容に、国が配慮したものと理解している。今後も安

全対策が公平に国から受けられるよう努力を。「情報発信力強化事業」は適切に進められていると理解しているが、説明が求められる場合は丁寧。「JMU関連事業所支援事業」は雇用の維持と市内経済の安定に。「従量移行調査業務委託」は費用対効果のあるものとなるようお願いする。

下水道事業会計決算は水洗化総合計画の建設事業を完了し、汚水処理人口普及率を約98%達成したことを評価する。



下水道東浄化センター

令和3年10月6日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決した条例議案

- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決したその他の議案

- 和解について（市有自動車の交通事故）
- 市道路線の認定及び廃止について

全会一致で可決した議会提出議案

- 日本の造船業の国際競争力強化及び日本海側における海事産業のリダンダンシー対策に係る意見書

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	西村正之	仲井玲子	議決をした日	
新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	市民	市民	市民	無党派		
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日	
○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	欠	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日

無党派…党派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、令和3年10月6日の本会議で次の委員を任命することに同意しました。

新任：四 方 あかね 氏

議案の採決結果

(令和3年9月定例会)

会期:9月2日~10月6日

全会一致で可決・認定した予算・決算議案

- 令和3年度国民健康保険事業会計補正予算(第1号)
- 令和3年度介護保険事業会計補正予算(第1号)
- 令和2年度病院事業会計の決算の認定並びに資本剰余金の処分及び資本金の額の減少について
- 令和2年度貯木事業会計の決算の認定について
- 令和2年度駐車場事業会計の決算の認定について
- 令和3年度病院事業会計補正予算(第1号)



全会一致で同意した人事議案

- 教育委員会委員の任命について

賛否が分かれた議案等

議案名	議員名等(会派内は五十音順)	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	今西克己	上野修身	鯛慶一
								新政	新政	新政
市長提出議案	令和3年度一般会計補正予算(第6号)	25	24	21	3	0	可	○	○	○
	令和2年度一般会計の決算の認定について	25	24	20	4	0	認	○	○	○
	令和2年度水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について	25	24	20	4	0	可認	○	○	○
	令和2年度下水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について	25	24	20	4	0	可認	○	○	○
	令和2年度国民健康保険事業会計の決算の認定について	25	24	20	4	0	認	○	○	○
	令和2年度介護保険事業会計の決算の認定について	25	24	20	4	0	認	○	○	○
	令和2年度後期高齢者医療事業会計の決算の認定について	25	24	20	4	0	認	○	○	○
	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例制定について	25	24	20	4	0	可	○	○	○
	個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	25	24	20	4	0	可	○	○	○
	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	25	24	20	4	0	可	○	○	○
	都市公園条例の一部を改正する条例制定について	25	24	20	4	0	可	○	○	○
議会提出議案	新型コロナウイルス感染症対策に係る意見書	24	23	20	3	0	可	○	○	○

【会派】 新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、市民…市民クラブ舞鶴議員団、



～ ご協力いただき、ありがとうございました ～

詳しくはホームページを
ご覧ください



Q3-(4) (3)紙面レイアウトで適切でない理由は何ですか。

■ レイアウト

- 見出して重要度が一目で分かるようなレイアウトだと読み始めやすいのではないか。
- もう少し余白があるとよい。
- 文字を詰め込み過ぎではないか。

■ 文字の大きさ ● 文字が小さい。

■ 情報量

- 情報が少ない。
- 文字が多い。 ● ページ数が多過ぎる。

■ その他

- カラーが必要なのか、経費節減を求めている。

Q3-(5) 今後新たに掲載したらよいと思う記事はありますか。

■ 市民の声や意見を聞いてほしい

- 市民の声(議員と議会に対する要望など)
- 市民からの意見や質問を掲載し、議員からの回答を併せて掲載していただきたい。

■ 舞鶴市や市の施策について

- 市の課題に対する議会の見解
- 可決した議案についての詳しい内容についても教えていただきたい。

■ 議員個人について ● 議員の議会以外での取組

■ その他

- あまり多くなり過ぎると読む気がなくなってしまう。要約、簡潔文章が望ましいと思う。

Q4 FMまいづる「ななこちゃったラジオ」への議員の出演についてお尋ねします。

毎月1回程度(金曜日の15時から、同日21時から再放送)議員が出演し、市議会の情報を発信しています。この放送で、聴いてみたいテーマを教えてください。

■ テーマ

- 舞鶴の今後について
- 今後の舞鶴の展望
- 魅力ある市をつくるにはどうすればよいか。
- 各議員の市政に対する思い

Q5 舞鶴市議会の広報活動についてのご意見、ご感想などご自由にご記入ください。

■ 広報手法について

- 市民に知ってもらうために議会の報告と議員の活動についていろんな方法で知らせてほしい。
- 何をしているのか見えにくい。もっと市民に知らせる工夫をしてほしい。

■ その他

- 堅くて市民にはわかりにくい
- 全てにわたって何をしてどのような成果が上がっているかが見えるようにしてほしい。

検証事項

■ 議会報編集部会

- 「議会報発行目的を周知する」ための取組
→ 個々の議員の意見や活動が知りたいとの意見を多く受けたことから、「市議会の活動や審議状況等を正確に伝える」という議会報の本来の役割を知っていたための検討
- 「読む気が起きる紙面づくり」への取組
→ 「文字が小さくて多過ぎる」「堅くて市民には何をしているのか分からない」「興味が無い」などの意見を受けたことから、読んでもらえる読みやすい記事の検討
- 「双方向性のある紙面づくり」への取組
→ 「市民の声や意見を聞いてほしい」という趣旨の意見が多く寄せられているのが特徴的。中立で公共性を持つ市議会だより等に、市民の声の聴取方法を検討

■ FM放送部会

- 「放送を知ってもらう」「聴いてもらう」ための取組
→ 「知らない・聴いたことがない」「聴かなくなった」などのご意見から「まずは知っていただく」方策を検討
- 市民の皆さんに興味を持っていただけるテーマの選定
→ 「聴かなくなった」「聴きたいテーマなし」などのご意見からどんなテーマなら興味を持って聴いてもらえるかを検討
- 個々の議員の魅力を伝えることと、公平公正な立場の放送の両立をどう考えるか、認識を共有
→ 「議員自身の考えが聞きたい」「各議員の意見が聞きたい」というご意見も複数見られたことから、FM放送部会の本来の役割である議会情報の発信を知っていたための検討

まとめ

「議会の情報を得る方法」として、まいづる市議会だよりを利用している方が全体の8割を超える結果となり、議会情報を発信する上で、また、市民の皆さまが議会を知っていただく上で非常に影響力があるツールであることが分かりました。そのほか、FM放送、ホームページ、フェイスブック等の基本的な広報ツール以外に議員から直接情報を入手される場合も多い結果となりました。

市議会だよりの記事の中で最も多くの方が興味を持たれているのは「代表・一般質問」で、続いて、「討論の内容」でした。政策に関する議論や意見に興味があるという結果になっている反面、改善が必要な記事も同様の項目とする結果となっています。自由記述欄にもさまざまな貴重なご意見をいただきました。

現在、皆さまからいただきました貴重なご意見を今後の議会広報活動に生かしていけるよう「議会報編集部会」および「FM放送部会」において、アンケート結果の検証および検討作業を進めております。今後も市民の皆さまに舞鶴市議会の活動がご理解いただけますよう努めてまいります。

舞鶴市議会広報に関するアンケート調査の結果をお知らせします

舞鶴市議会では、「市民に開かれた議会」の実現を目指し、議員および議会の役割や活動について、市民の皆さまにより深く知っていただくため、効果的な広報活動について、検討しております。

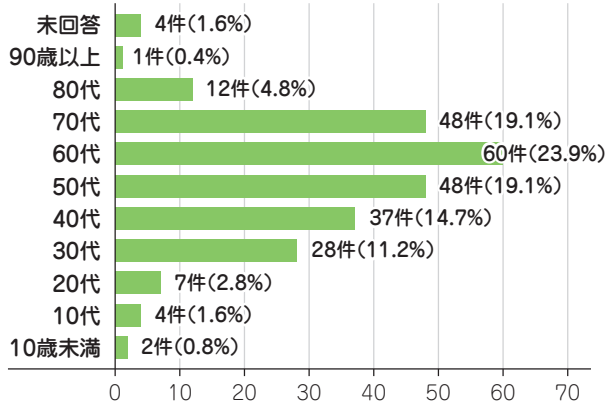
広報活動のうち「市議会だより」の作成においては、読み手のニーズに応じた掲載記事の検討をするために、そして、「FM放送」においては、聴き手が求めていることを集約し、さらによりよい放送にするための手法として、効果的な広報活動を展開することを目的に実施いたしました。

このたび、アンケートの集計結果がまとまりましたので、その概要をご紹介します。

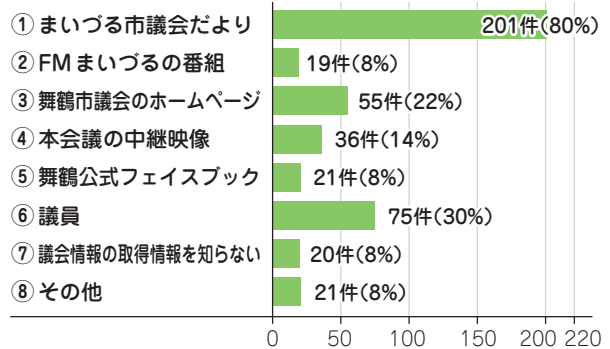
- 調査期間：令和3年7月31日(土)～9月16日(木)
- 調査手法：① まいづる市議会だより(No.176 令和3年7月31日発行)を利用した方法で郵送またはファクスによる回答
② 舞鶴市ホームページからアンケート入力による回答
③ 市議会ロビーにアンケート設置、記入後、回収箱に投函による回答 など
- 回答件数：251件



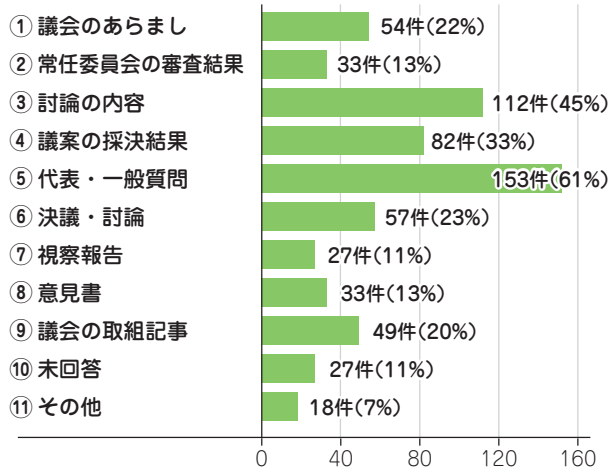
Q1 年齢を教えてください。



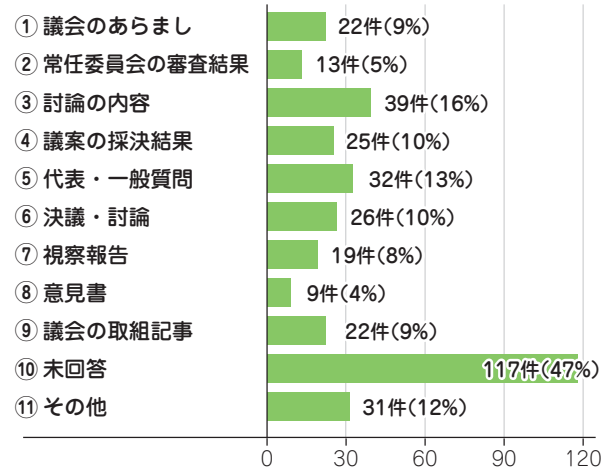
Q2 舞鶴市議会は「市民に開かれた議会」を目指し、様々な手法で情報を発信しています。舞鶴市議会の情報をどのような方法で得られますか。(複数回答可)



Q3-(1) 「まいづる市議会だより」についてお尋ねします。興味のある記事は何ですか。(複数回答可)



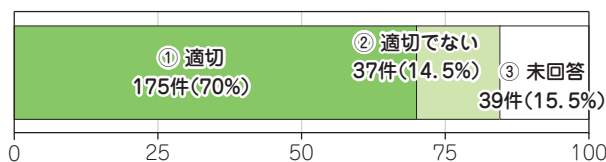
Q3-(2) 改善が必要と思われる記事とその理由は何ですか。(複数回答可)



改善が必要な理由

- もう少し分かりやすく書いてほしい。
- もっと簡略化してもよい。
- 記載内容が簡潔過ぎて、中身の真意が理解できない。
- 一般質問などに対する答弁内容の記載が少な過ぎて分かりづらい。もっと重要度を考慮して記載するものを絞ってはどうか。
- 今後の政策の具体的な方向性や案をなるべく詳しく知りたい。

Q3-(3) 紙面レイアウト(字の大きさ、余白、文字数、ページ数等)は適切ですか。



意見書

9月定例会で議会提案し、可決した意見書は次のとおりです。

▽日本の造船業の国際競争力強化及び日本海側における海事産業のリダンダンシー対策に係る意見書

現在、世界の造船市場は、国の支援を受けた中国や韓国の造船業界が席巻し、日本の国際競争力は大きく低下、さらに、新造船の供給過剰、コロナ禍による受注減も相まって、日本の造船業はかつてない厳しい状況に置かれている。

保し、海の安全保障の確保及び国土の均衡ある発展、国益に資することを目的に、「海事産業強化法」の趣旨を踏まえ、国において次のとおり対策を実施されるよう要望する。

1 造船業の国際競争力の強化を進める対策の充実

(1) 高性能な船舶を競争力のある価格で建造するための技術開発及び生産性向上を促進するための補助金や融資等の支援を行うこと

(2) 国内船舶建造及び海洋機械設備の需要喚起策の実施

(3) 海上自衛隊や海上保安庁の艦船の高度な建造修理機能の技術が継承発展できるよう、民間造船会社が行う新たな造船技術の調査研究を国策として支援すること

(4) 海上自衛隊、海上保安庁などの高機能な船舶の計画的な国内建造の実施及び配備エリアを踏まえた修繕等のエリア発注方式の導入

(5) 需要増加が期待されるクルーズ客船の国内建造や官民連携した海外船の受注拡大への

取組強化

2 港湾整備とともに船舶の建造修理拠点の機能維持とリダンダンシー対策

(1) 日本海側においても船舶の建造修理拠点のリダンダンシー対策を行うこと

(2) 日本海エリアの海の安全と均衡な国土の発展のため、国として地域性やエリアの多重性を考慮した海事産業とリダンダンシー対策の支援を行うこと

▽新型コロナウイルス感染症対策に係る意見書

安心安全な日常生活を早期に取り戻すため、検査医療体制を含む感染防止対策のさらなる充実、ワクチン接種完了後の速やかな経済復興施策の実施に関する次の事項について、強く要望する。

徹底した感染防止対策について

1 緊急事態における強制力のある感染拡大防止の法整備の検討

強制力のある人流抑制や行動制限を実施できる法整備や経済的影響を受ける事業者に対する補償についても法整備を検討すること

2 新たな変異株に対する水際対策の徹底

新たな変異株が発生していることから、空港や船舶入港における海外入国時の検査、隔離など、国内に持ち込まれないよう、徹底した水際対策を実施すること

ワクチン接種、検査医療体制について

3 政府主導による新たな治療薬、治療法の研究、実用化

新たな治療薬、治療法について、政府主導による研究、早期の実用化を図ること。さらにワクチンについては3回目接種も検討されていることから、国内での開発を早急に進めること

4 病床確保に対する医療機関への財政的支援

医療機関への財政的支援による空床補償や後方支援病床の確保が可能となるよう取り組むこと

地域経済対策について

5 長期化する経済低迷に対する復興策の実施及び金融支援の実施

積極的な財政出動による大胆な経済対策、とりわけ地域消費の拡大策を行うこと。あわせて中小企業に対する積極的な金融支援を行うこと

6 雇用確保に係る対策

継続的な雇用を確保するため、業態業種を問わず、継続的で安定した雇用確保の制度を検討すること

7 感染症対策に係る認証店制度の十分な活用

感染症対策を着実に実施している店舗については、酒類提供や時短等に係る営業制限、自粛要請について、一律に制限することなく段階的な緩和措置を可能とすること。

8 「ワクチン、検査パッケージ」システムの早期実施

以前と変わらぬ人流や経済社会活動を取り戻すため、参加者の安心安全を確保する「ワクチン、検査パッケージ」システムの構築を実現すること

9 誹謗中傷、偏見や

差別、デマの拡散等に対する対策の徹底

人権を守るための広報、相談体制、厳罰化など法整備を含めた対策を徹底すること

10 子どもに対するケアの充実

子どもに対する様々な面でのアプローチ、ケアを自治体と連携し、施策として実現すること

11 生活困窮者を支える継続的な支援

生活を支える弾力的な制度運用、緩和を行うとともに、継続的な支援体制を構築し、引き続き全額、国による財政措置を行うこと

自治体への財政支援等

12 感染症対策、経済対策等を行い、厳しい自治体への財政支援措置

新型コロナウイルス感染症特別臨時交付金や地方創生臨時交付金など、基金への積立や年度繰越要件の緩和、交付金の次年度継続など、弾力的な運用を可能にするとともに、自治体財政の健全化に向けた長期的な視点での継続的な自治体支援を行うこと



特別委員会活動報告・市議会防災訓練(9/1実施) 手話通訳・要約筆記者の配置・12月定例会の予定

市内造船事業に 関する調査特別 委員会の活動報告

ジャパンマリユニナイテッド株式会社舞鶴事業所の新造船船事業から撤退の意向を受け、令和2年2月25日に市内事業所への影響を調査し、議会として必要な措置を検討・実施するため設置しました。

これまで執行機関から報告を頂き、調査等に取り組んだほか、8月18日には、同事業所の管理部長を参考人として招致し、最終船の引き渡しを5月26日に終えられ、従業員雇用面にも一定めどがつき、7月1日で新造船部門が終了したことを確認しました。

10月6日の最終本会議では、国に対して日本の造船業の国際競争力強化を進める対策などを提案した意見書が全会一致で可決され、委員会としての最終報告を行いました。

「防災の日」に議会の防災訓練を実施しました

「防災の日」である9月1日、舞鶴市議会では、議員全員が参加する防災訓練を昨年に引き続き、実施しました。
当初は、会議室からの避難訓練も予定していましたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態措置の状況を踏まえ、参集する機会を避け、情報伝達訓練を実施しました。

訓練の内容

■被害状況報告
各議員が被災状況の写真を撮り、必要な情報を添えて、議会のネット掲示板(平時から活用しているシステム)に掲載し、その手順とともに、議会から市の対策本部への情報伝達の方法を確認。



撮影場所、
時間、状況、
連絡先の情報

被害状況の
写真

撮影場所の
地図情報

訓練時の
掲示板

■議会本部分議

正副議長と各会派の代表者で、状況把握と議会の対応を協議するための「議会本部分議」をオンラインで開催し、その手順や要する時間等を確認。



議会本部分議

詳しくは
ホームページを
ご覧ください



今回の訓練では、議員が掲載する情報に、一部不足が見られたことなどが課題として挙げられたため、今後、多様な場面を想定した訓練を繰り返し、いざというときのために精度を高めていきます。

12月定例会予定

11月

25日(木) 本会議(開会・提案説明)

12月

2日(木) 請願受理締切

7日(火) 本会議(一般質問)

8日(水) 本会議(一般質問、議案質疑)

9日(木) (本会議(一般質問、議案質疑)予備日)

13日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会

14日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会

17日(金) 予算決算委員会

23日(木) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)

※予定は変更することがあります。

議会を傍聴 してみませんか

本会議や委員会等とはなたでも
傍聴することができます。

詳しいお問い合わせは市議会議務局へ ☎66-1060

手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはメール、FAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承ください。

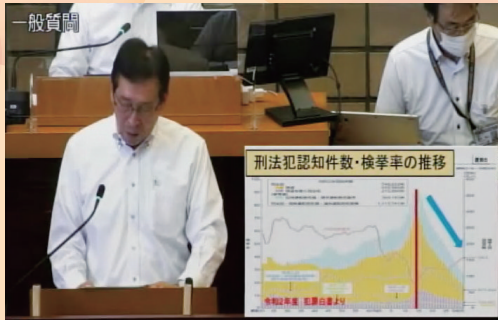


詳しくは
ホームページを
ご覧ください



委員会・分科会の映像配信が始まりました

～議会の「見える化」をさらに推進～



資料を使った一般質問 (R3.9.15 本会議)



委員会の様子を配信 (R3.9.27 総務消防分科会)

舞鶴市議会では、議会基本条例(平成30年制定)に基づき、「新しい生活様式」を踏まえつつ、議会の役割や機能をさらに充実・強化していく「新しい議会の姿」を目指し、さまざまな取り組みを実施しています。

本年は、これまでに、オンライン会議の導入や、オンラインによる先進地視察を行いました。令和3年9月定例会からは、「聞き取りやすさ」「見やすさ」「分かりやすさ」の向上を目的に改修した議場の音響・映像システムの運用を開始したほか、議案の審査等を行う委員会および分科会の映像配信を新たに開始しました。

視聴方法

本会議の映像と同じく、舞鶴市議会公式YouTubeチャンネルで配信しています。
ライブ配信の予定日時は、舞鶴市議会のホームページに掲載するほか、舞鶴市議会のFacebookでも発信します。
録画映像は、舞鶴市議会公式YouTubeチャンネルで、いつでもご覧いただけます。

舞鶴市議会
ホームページ



舞鶴市議会
YouTube



舞鶴市議会
Facebook



【議会報編集部会】

部会長 今西 克己	委員 肝付 隆治
副部会長 杉島 久敏	委員 綱 慶一
委員 伊田 悦子	委員 田村 優樹

編集後記

「まいづる市議会 だより」をこ愛読いただき誠にありがとうございます。

昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策に追われる1年でありましたが、本市では、さまざまな支援策や対策が進み、現状、最も有効とされているワクチン接種が順調に実施されています。感染拡大の一日も早い収束を祈るものです。

そうした中、議会報編集部会としては、市民の皆さまに舞鶴市議会の活動を少しでもご理解いただき、興味を持って市政をしっかりと見届けてもらえよう、より分かりやすい紙面構成に努めてまいりました。

特に今回は、舞鶴市議会広報に関するアンケート調査の実施に伴い、幅広い年齢層の市民の皆さまの声を聴かせていただけたものと思っております。そこで頂戴いただきましたご意見、ご感想を参考にさせていただきますとともに、本部会においてさらに検討を重ね、今後の編集に役立てさせていただきますことをお約束いたします。

(副部会長 杉島久敏)